

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221432071	栄養評価管理実習	平井あかり	✓	専門	1	選択	3後期
科目的概要							
この科目では、各疾患別の栄養管理を症例により具体的に学ぶ。また、グループディスカッションと発表を模擬体験することで、カンファレンスの際に必要な判断力を養い、DP②「管理栄養士に必要な疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身につけ、豊かな食生活と健康を創造することができる」、DP③「自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる」管理栄養士の育成を目指す。担当教員は管理栄養士として病院に務め、栄養指導や栄養・給食管理業務の経験がある。病院勤務の経験を生かし、臨床に即した実習を行う。							
学修内容	到達目標						
① 対象症例より、各疾患の栄養状態や病態を理解し栄養管理計画および献立を作成する。 ② 栄養管理計画・症例検討の発表を通じ、プレゼンテーションを実施する。 ③ 立案した栄養管理計画書は、実施・モニタリング・再評価を行う。	① 対象症例より、各疾患の栄養状態や病態を理解し栄養管理計画および献立を立案することができる。 ② 栄養管理計画・症例検討の発表を通じ、プレゼンテーションができる。 ③ 立案した栄養管理計画書は、実施・モニタリング・再評価を行い、疾患に対する知識や対象者の栄養管理の必要性について、さらに理解することができる。						
学生に發揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例						
前に踏み出す力	主体性 知識の獲得、思考力、判断力等を身に付けることに向けて粘り強く取り組むことができる。						
	働きかけ力						
	実行力 授業内容の理解のためにテキスト以外の情報源を利用して自己学修をすることができる。また、予習時の疑問点を放置せず、講義や復習において自ら解決に向けて行動できる。						
考え方抜く力	課題発見力 対象疾患の症例についてグループワークを行い、他者や自分の意見を尊重しながら提案したり、食事療法や経腸栄養剤、栄養指導の方法など、自分で常に考えながら学修することができる。						
	計画力						
	創造力 個人学修やグループワークより、常に対象者や症例について創造しながら対象者に沿った栄養ケア計画を作成し、あらゆる視点から物事を見ることができる。						
チームで働く力	発信力 対象者に沿った栄養ケア計画を作成し、その根拠等を説明する。さらにグループワークやプレゼンテーションより、積極的な意見交換を行う。						
	傾聴力 グループワークで互いの意見を聴きあうことができる。対象者の問題点を総合的に見極められる。						
	柔軟性						
	情況把握力						
	規律性 欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る。提出物は期限内に提出する。						
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：NEXT 栄養科学シリーズ 臨床栄養管理学実習 塚原丘美編 講談社サイエンティフィック 参考テキスト：NEXT 栄養科学シリーズ 新・臨床栄養学 竹谷豊編 講談社 演習で学べる在宅栄養支援－地域共生社会における管理栄養士の役割 建帛社 参考資料：レポートの書き方ガイド https://www.kansai-.ac.jp/ctl/labo/useful/pdf/report/20170426_kiso.pdf 関西大学（基礎編） https://www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/useful/pdf/report/20170426_hatten.pdf 関西大学（発展編）							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「臨床栄養評価実習」は専門分野の臨床栄養学分野の科目の一部であり、臨床栄養学ⅠⅡで獲得した知識・技術を活用する。また、同時期に実施する「在宅栄養管理論」と関連する。「臨床栄養評価管理実習」は、「臨地実習」の基盤となる科目である。 資格との関連：管理栄養士							
学修上の助言	受講生とのルール						
予習を行い、今まで学んだ知識を整理して授業に臨みましょう。また、授業終了後は、知識定着のため復習をしましょう。	予習と復習を必ず行い、提出物は期限に提出すること。欠席をしないこと。やむを得ず欠席した場合は、配布資料を用いて自己学修し、次回授業時に提出すること。資料の配布は、Google classroomを使うことがある。						

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	50	① ✓	到達目標①②③の基礎的知識が身に付いているか、内容が理解できているかを評価基準とする。
			② ✓	
			③ ✓	
	小テスト	0	①	課題レポートの内容で評価する。 ・評価基準は、課題ごとに授業内で示す。
			②	
			③	
	平常評価	25	① ✓	プレゼンテーションを評価する。 ・評価基準は、課題ごとに授業内で示す。
			② ✓	
			③ ✓	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	① ✓	【主体性】知識の獲得、思考力、判断力等を身に付けることに向けて粘り強く取り組むことができる。 【実行力】講義内容の理解のためにテキスト以外の情報源を利用して自己学修をすることができる。また、予習時の疑問点を放置せず、講義や復習において自ら解決に向けて行動できる。 【課題発見力】対象疾患の症例についてグループワークを行い、他者や自分の意見を尊重しながら提案したり、食事療法や経腸栄養剤、栄養指導の方法など、自分で常に考えながら学修することができる。 【創造力】個人学修やグループワークより、常に対象者や症例について創造しながら対象者に沿った栄養ケア計画を作成し、あらゆる観点から物事を見ることができる。 【発信力】対象者に沿った栄養ケア計画を作成し、その根拠等を説明する。さらにグループワークやプレゼンテーションより、積極的な意見交換を行う。 【傾聴力】グループワークで互いの意見を聴きあうことができる。対象者の問題点を総合的に見極められる。 【規律性】欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る。提出物は期限内に提出する。
			② ✓	
			③ ✓	
総合評価割合		100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が90%以上 A(優)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が80～90%	B(良)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が70～80% C(可)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が60～70%

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 臨床栄養管理に必要な技能を学ぶ 糖尿病の栄養管理を学ぶ	講義 グループワーク google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	栄養ケア・マネジメントの概要を理解している。 糖尿病症例の栄養管理を理解している。	(予習) 「栄養ケア・マネジメント」、「糖尿病」 p. 74~76について予習する。 (復習) 授業内容をまとめるとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	肥満症の栄養管理を学ぶ① 栄養管理計画の作成(個人)	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	肥満症の栄養管理の方針を提案でき、栄養管理計画を作成できる。	(予習) 「肥満症」 p. 79~84について予習する。 (復習) 授業内容をまとめ、グループワーク、発表の準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	肥満症の栄養管理を学ぶ② 献立の作成(個人)	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	肥満症の栄養管理計画を基に、献立が作成できる。	(予習) 「肥満症」 p. 79~84について予習する。 (復習) 授業内容をまとめ、グループワーク、発表の準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	肥満症の栄養管理を学ぶ③ 栄養管理計画・献立の作成(グループワーク)、発表	グループワーク 発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	肥満症の栄養管理を理解している。	(予習) 「肥満症」 p. 79~84について予習する。 (復習) 授業内容をまとめるとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	炎症性腸疾患の栄養管理を学ぶ① 栄養管理計画の作成(個人)	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	炎症性腸疾患の栄養管理の方法を提案でき、栄養管理計画を作成できる。	(予習) 「炎症性腸疾患」 p. 100~108について予習する。 (復習) 授業内容をノートにまとめるとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	炎症性腸疾患の栄養管理を学ぶ② 献立の作成(個人)	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	炎症性腸疾患の栄養管理計画を基に、献立が作成できる。	(予習) 「炎症性腸疾患」 p. 100~108について予習する。 (復習) 授業内容をまとめ、グループワーク、発表の準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	炎症性腸疾患の栄養管理を学ぶ③ 栄養管理計画・献立の作成(グループワーク)、発表	グループワーク 発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	炎症性腸疾患の栄養管理を理解している。	(予習) 「炎症性腸疾患」 p. 100~108について予習する。 (復習) 授業内容をまとめるとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	高齢者疑似体験 食事介助・姿勢・食事動作・摂食状況レベル等支援技術を学修する	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	食事介助時の方法、姿勢を理解することができる。	(予習) 高齢者への食事介助方法について予習する。 (復習) 授業内容をまとめるとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名 : 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	とろみ剤の濃度測定 LST測定方法について学修する	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	3段階のとろみを作成することができる。	(予習) とろみ剤によるとろみの付け方について予習する。 (復習) 授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	調理実習 (肥満症、炎症性腸疾患)	実習 発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	肥満症、炎症性腸疾患の献立に基づき、調理をすることができる。	(予習) 「肥満症、炎症性腸疾患、腎疾患」の献立を確認し、注意点を把握する。 (復習) 授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	嚥下障害者の栄養管理を学ぶ① 栄養管理計画・献立の作成（個人）	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	嚥下障害者の栄養管理の方法を提案でき、栄養管理計画を作成できる。	(予習) 「嚥下障害」について予習する。 (復習) 授業内容をまとめる、発表の準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	嚥下障害者の栄養管理を学ぶ② 栄養管理計画・献立の作成（グループワーク）、発表	グループワーク 発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	嚥下障害者の栄養管理を理解している。	(予習) 「嚥下障害」について予習する。 (復習) 授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	障害者（脊髄損傷）の栄養管理を学ぶ① 栄養管理計画・献立の作成（個人）	講義 演習 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	障害者（脊髄損傷）の栄養管理の方法を提案でき、栄養管理計画を作成できる。	(予習) 障害者（脊髄損傷）について予習する。 (復習) 授業内容をまとめ、発表の準備を行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	障害者（脊髄損傷）の栄養管理を学ぶ② 栄養管理計画・献立の作成（グループワーク）、発表	グループワーク 発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	障害者（脊髄損傷）の栄養管理を理解している。	(予習) 障害者（脊髄損傷）について予習する。 (復習) 授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	調理実習 (嚥下障害、障害者（脊髄損傷）)	実習 発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	嚥下障害、障害者（脊髄損傷）の献立に基づき、調理をすることができる。	(予習) 「嚥下障害、障害者（脊髄損傷）」の献立を確認し、注意点を把握する。 (復習) 授業内容をまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名 : 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力